

経営学部で学ぶ感性

〈出題内容・形式・配点〉

内容	形式	配点	試験時間
I 論述	記述	30	120分
II 論述	記述	30	
III 論述	記述	40	
合計		100	

【出題の基本方針】

本入試における出題の基本方針は、経営学部で学ぶ上で期待される総合的な感性の力「発想力、構想力、文章表現力等」といった受験生の総合的な能力(感性の力)を確認することにある。具体的には、受験生が与えられた題材(文章や語句、図や写真など)の背景や意図を読み解き、受験生が学習して培った「知的好奇心」「観察力」「洞察力」「発想力」などの学力を交えた主体的な見解を論理的に整理し(構想力)、その内容を他者に具体的かつ明解に限られた字数で伝える「文章表現力」を評価することを目的としている。

【学習のポイント】

- ・経営学部で学ぶ上で期待される総合的な感性の力「発想力、構想力、文章表現力等」は一朝一夕で身に付くものではない。日頃から、経営に関する事柄に関心を持って、自分で考えてみることを心がけてほしい。そのためには、新聞を読みニュースを題材に自分の考えを書いてみることをお勧める。
- ・社会科だけでなく、すべての科目にわたって幅広い教養を身に着けておきたい。関心のあるテーマについては、新書を読むなどして、基礎的な知識を深めておくようにしたい。そのうえで自分の考えを展開できれば良い。なお、誤字脱字を防ぐために、パソコンやスマートフォンでの文字入力とは別に、実際に文字を書いて文章を作成する練習は不可欠であろう。